

みんなが輝く東葛城の子 1月

考える子 思いやる子 元気な子

挑戦 そして 新しい自分

平成28年1月8日
校長室だより NO. 9
校長 笠川 智香



明けましておめでとうございます。

今年もよろしく願いいたします。

新しい年がスタートしました。「元旦」の旦という字は、日の下に一を加えたもので、地平線から太陽が現れる様子を意味するそうです。元（はじめ）の日の夜明けに、私も初日の出を拝みに出かけました。山裾と雲の合間から見えたご来光にエネルギーをいただきました。（上写真）「何となく 今年はいい事あるごとし 元旦の朝 晴れて風なし」 石川啄木 穏やかな天気のが日でした。申年の今年、皆さんはどんな抱負（事をなすとげようと、決心または約束すること）を抱いたでしょうか。

正月の風物詩「お年玉」は、古くは「お年魂」と言って神様から「新しい魂」をいただくことだったとか。今は「現金」にかわりましたが、子ども達の「元気」な笑顔が浮かんできます。

玉手箱

「見ざる・聞かざる・言わざる」

「見ざる・聞かざる・言わざる」ってどんな意味があるのでしょうか。世界にも諸説ありますが、日本の世界遺産に登録されている日光東照宮の右写真の三猿について調べてみました。物語形式で人の生き方を教えているそうです。（インターネットより抜粋）



日光東照宮の三猿

1面～親子の猿：母猿が手をかざして子ざるの将来を案じています。

2面（右写真）～3匹の子ども猿：子どもの時は、世の中の悪いことを見たり聞いたり言ったりしないで素直なまま育ちなさい、社会に出たときには、よけいなことは見たり聞いたりしても、見聞きしなかったこととして、噂にしたり怒ったり愚痴ったりしないという戒め。

3面～座っている猿：ひとり立ち直前の姿。

4面～若い猿：大きな志を抱いて天を仰いでいます。

5面～人生に挫折する厳しさを味わっている姿：迷い悩む時に励ましてくれる友や仲間が大切だと言う教え。

6面～若い猿：恋に悩み、物思いにふけっている姿。

7面～二匹の猿：やがて結婚した2匹の猿。大きな荒波にも 夫婦で乗り越えていくという教え。

8面～おなかの大きい母猿：いろいろな経験を積んで大人になり、母親として次の世代につないでいく姿。

小学生の皆さんは、ちょうど2面の3匹の猿の時期。人は、自分にとって都合の悪いことは言わなかったりしたりしないけれども、相手の欠点はたくさん見えたり、聞いたり、べらべらしゃべってしまいがちですが、そのようなことは良くないんですよ。素直に育つんですよってということですね。

縄跳びに挑戦しています！！

ロング休憩に運動場でたくさん子ども達が縄跳びに挑戦しています。岸和田市内の小中学生で記録にチャレンジするチャンスがあります。今年、本校も体育委員会が中心となって全校の希望者で参加します。個人で、又はグループや学級で、いろいろな跳び方や回数に挑戦しましょう。



正月の風物詩 1/2(土)新春マラソン

みんなで楽しく ジャンプ

